

【 6 款 農林水産業費 】

1 農業費

農家の経営安定と農村の活性化を目標に、農林業の担い手確保、後継者の育成、経営規模拡大、農業生産基盤の整備等を図りつつ、農業所得の向上のため生産性の高い施設野菜や露地野菜の推進、畜産業振興と集落営農組織の推進及び経営の合理化などを積極的に推進した。

(1) 農業委員会

農業・農村を取り巻く環境は、輸入産物の増大による国際化の進展、農業の担い手不足と高齢化、農地の荒廃・遊休化など多くの課題を抱え、厳しい状況に直面している。農業委員会としては、新しい「食料・農業・農村基本計画」において、農地の有効利用を促進するため、農地の利用状況調査を実施し、農業経営基盤強化促進法に基づき、認定農業者や担い手への農地の利用集積をはじめ、耕作放棄地の発生防止・解消のための指導強化等、積極的な土地利用の推進と農業後継者結婚対策に取り組んだ。

(2) 農業振興対策

地域農業活性化のため、営農基盤の整備促進や農用地の有効利用及び担い手対策として認定農業者を対象とした農援隊設置事業をはじめ、各種事業を積極的に推進した。

地域振興品目の振興普及対策では、アスパラガスの環境負担軽減を目的とした UV カットフィルムの導入を行い、管理作業労力の省力化と化学農薬低減技術の導入を図った。

有害鳥獣対策については、特にイノシシによる農作物への被害防止のため、「捕獲」「防護」「棲み分け」の観点から、地元猟友会との連携及び特区チームによる駆除を行った。また、箱罟の整備による捕獲体制の強化、防護柵の整備による農地への侵入防止に努めた。

中山間地域等直接支払制度においては、事業実施により活発な集落の共同活動や多面的機能の増進、耕作放棄地の防止が図られた。

(3) 担い手育成対策

平戸市担い手育成総合支援協議会を中心として、認定農業者の確保や育成などを図るため各種研修会の開催や県が開催する研修会等への参加など関係機関と連携を図りながら積極的な取り組みを行った。

(4) 農業者戸別所得補償制度の推進

農業者戸別所得補償制度においては、平戸市地域水田農業推進協議会を中心として、食料自給率向上や水田農業経営の改善を目的に、米の計画的生産と飼料作物や野菜等の増産に向けた施策を推進した。

(5) 近代化施設整備

本市の振興品目であるアスパラガスについて、新規就農者 2 名に対し、施設（アスパラガスハウス）の導入補助を行った。また、第 6 次産業化に向けた支援策として、農事組合法人が導入する施設（いちごの長期保存用冷凍庫及び倉庫）に対して補助を行った。

(6) 畜産業振興対策

肉用牛の振興において、飼養頭数は、ほぼ横這いで推移しているものの、担い手不足や高齢化等による少頭数飼いの農家が減少傾向にある。

そうしたことから、産地確立の中核となる繁殖農家の経営支援を推進するため、優良繁殖雌牛の導入及び牛舎等の整備に対する補助を行うとともに、放牧地整備による低コスト化の支援と併せて、ながさき西海農協が建設したキャトルセンター及び付随する設備・機械に対して支援を行った。

平成 24 年度に開催される第 10 回全国和牛能力共進会長崎県大会については、和牛オリンピック対策奨励事業として、第 2 区「若雌の 1」、第 3 区「若雌の 2」及び第 7 区「総合評価群」の導入に対する補助を行い、出品候補牛の選定を行うとともに、本市からの出品及び上位入賞を目指し、各地区和牛部会及び農協等の関係団体と一体となった出品指導などの取り組みを推進した。

(7) 農業基盤整備

農業生産の近代化及び農業生産力の増強と経営基盤の強化整備拡充を図るため、未舗装農道や老朽化した用排水路、頭首工、ため池などの整備に対して、市単独農業農村整備事業による補助を行い、農業環境の整備に努めた。また、耕作放棄地の解消を図るため、耕作放棄地解消総合対策事業を実施し、農地の再生を行った。

2 林業費

(1) 森林造成・保全

植栽から保育事業まで一貫した造林事業を実施することにより、優良材の生産及び健全な森林の育成を図ることができ、また、森林の持つ多面的な機能を発揮し、CO₂（二酸化炭素）の吸収による低炭素社会の実現、水源かん養機能や国土保全等、美しい自然環境の保全に貢献している。

更に、健全な森林を育成するために、市有林において、国庫補助事業により間伐等の適切な整備を実施した。森林整備地域活動支援交付金事業により、地域森林所有者の林業経営に対する意欲向上及び森林施業の推進に取り組んだ。

(2) 林道等施設整備

国の交付金等を活用し、林道の法面の整備を行うなど、林道利用者の安全を確保し、林業振興及び市民生活の利便性の向上に寄与した。

(3) 特用林産物活用施設整備

特用林産物の振興と雇用の確保を図るため、平戸市森林組合が整備する菌床しいたけのホダ木生産施設に対し、補助を行った。

3 水産業費

資源水準や魚価の低迷、漁場環境の変化、担い手の減少と高齢化、燃油や漁業資材の高騰などにより厳しさを増す水産業界だが、中長期的には「漁場環境及び生産管理（資源管理）の強化」による漁業生産の効率化と安定化（持続的利用）を目指し、短期的課題として「流通・販売体制の改善と漁村加工の育成（高付加価値化）による収益力の強化」「漁協経営の基盤強化」「都市住民らとの交流と地域連携による開かれた漁村の創造」によって、経営の安定化を図り先進的な水産業の中核地域づくりの推進を行った。

また、漁業の担い手をはじめとする漁村の住民にとって安全で快適な生活環境や効率的な生産環境づくりを図るため、基幹的な漁港施設や漁村環境の施設整備の取り組みを行った。

(1) 水産業振興対策

水産資源の再生産にとって極めて重要な位置を占める藻場の回復を図るため「環境・生態系保全活動支援交付金事業」を実施すると同時に、人工魚礁漁場を整備し、生産基盤の維持安定を推進するとともに、離島地区における漁業生産力の向上を図るため、「離島漁業再生支援交付金事業」を実施し、地域の実情に応じた沿岸漁業の振興策を図った。

また、広域的な栽培漁業と資源管理型漁業の積極的な推進により、水産資源の維持・安定を図っている。さらに、「放流用アワビの中間育成試験」に取り組み、栽培漁業の効率化や地域資源を活かした漁村加工及び販売促進に取り組んできた。

なお、集・出荷体制の改善と漁村加工を推進し、収益安定を図るとともに経営母体の体質強化並びに人材育成を推進するため、現場実態に則した普及・指導を強化した。

新規事業としては、漁業後継者確保対策として「漁業担い手確保支援交付金事業」に取り組み、沿岸漁家の後継者確保を推進した。

【 6款 農林水産業費 】

(2) 漁港建設

水産活動の拠点として重要な役割を果たしている漁港の整備については、漁港整備長期計画に基づき今日まで整備を行った結果、一定の漁港形態は整ってきたが、未だ必要な施設が整っていない漁港も存在していることから計画的に漁港、漁村の整備を進めている。併せて、平成 22 年度から既存施設の長寿命化を図るため、従来の漁港建設事業に加えて「水産物供給基盤機能保全事業」を実施しており、平成 23 年度においては、従来の機能保全工事を行うための前提となる機能保全調査と併せて機能保全工事を実施し、漁港施設の延命措置を講じた。

事業名	事業内容	事業費
農地制度実施 円滑化事業 (農業委員会) 【事項別明細書 194 頁】	農地の利用関係調整（農地等の利用関係紛争についての和解の仲介や権利移動の許可取得等による農地の斡旋等）や農地の利用状況調査、農地基本台帳の整備等を行った。	3,979
耕作放棄地解消 サポート事業 (農業委員会) 【事項別明細書 194 頁】 【事項別明細書 196 頁】	〈緊急雇用創出事業臨時特例基金事業〉 「耕作放棄地解消コーディネーター」として臨時職員を雇用し、担い手と地権者のマッチングのための相談・調整を支援することにより、耕作放棄地の解消を図った。	3,561
農業後継者結婚 対策事業 (農業委員会) 【事項別明細書 196 頁】	結婚相談員（32 人）と協力員（19 人）を中心に農業後継者結婚相談推進会議を開催し、農業後継者の結婚に向けた相談活動等を行った。 地区別会議（平戸 3 地区、生月、田平、大島）計 6 回	146
中山間地域等直接 支払交付金事業 (農林課) 【事項別明細書 198 頁】 【事項別明細書 200 頁】	中山間地域における耕作放棄地の防止と多面的機能を確保する観点から、活動を行う協定締結集落等へ交付金を交付した。 推進事業費 1,416 千円 交付金 184,057 千円 協定締結数 102 協定（集落 101 個人 1） 交付面積 1,006.25ha 負担割合 国：50%、県：25%、市：25%	185,473

(単位：千円)

財源内訳				事業の成果										
国県支出金	地方債	その他	一般財源											
3,970		8	1	農地の利用状況調査の実施により、農地基本台帳の整備が図られ、農地利用集積等の基礎資料として活用が可能になった。										
3,546		15		農地の利用状況調査を活用し、耕作放棄地の全体を把握し、その中から農振地域内の農地を重点的に利用促進を図り、耕作放棄地の解消を行った。 耕作放棄地解消 278 筆、18ha 新規雇用失業者数 4 名										
			146	結婚相談員の親身になった活動と努力が後継者の結婚成立に結びついた。 ○結婚成立件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>20 年度</th> <th>21 年度</th> <th>22 年度</th> <th>23 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>結婚成立件数</td> <td>1 件</td> <td>0 件</td> <td>1 件</td> <td>1 件</td> </tr> </tbody> </table>	年度	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	結婚成立件数	1 件	0 件	1 件	1 件
年度	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度										
結婚成立件数	1 件	0 件	1 件	1 件										
139,446		4	46,023	この事業を行ったことで、集落の活発な営農活動が生まれ、農地・道路・水路などの保全はもとより、水源のかん養機能や良好な景観の形成機能が増進され、また耕作放棄地の防止を図ることができた。 協定締結数 22 年度 91 協定（集落 90 個人 1） 23 年度 102 協定（集落 101、個人 1） 交付面積 22 年度 877.65ha 23 年度 1,006.25ha										

事業名	事業内容	事業費
耕作放棄地解消総合対策事業 (農林課) 【事項別明細書 200 頁】	平戸市担い手育成総合支援協議会が実施する耕作放棄地解消総合対策事業に対し、補助を行った。 事業内容 区画整理、農道・水路の改修、暗渠排水路等の整備 事業量 102a 3 箇所 (平戸地区 1 箇所、田平地区 2 箇所) 事業費 7,293 千円 (補助対象事業費) 負担割合 国 (※) : 50%、県 : 30%、市 : 15%、受益者 : 5% ※国費は、直接交付。	3,281
農援隊設置事業 (農林課) 【事項別明細書 200 頁】	<緊急雇用創出事業臨時特例基金事業> 事業内容 ながさき西海農協に委託し、労働力不足のため規模拡大や新規品目導入に踏み切れない認定農業者へ農援隊を派遣し、労力の支援を行った。 事業量 農援隊 (8 名) の派遣 事業費 15,990 千円	15,990
構造改善加速化支援事業 (農林課) 【事項別明細書 200 頁】	【就農定着促進支援補助金】 事業内容 平戸南部アスパラガス生産組合 (2 戸) が導入する施設 (アスパラガスハウス) への補助を行った。 事業量 アスパラガスハウス (単棟型) 10 棟 3,075 m ² 事業費 17,535 千円 (補助対象事業費) 負担割合 県 50%、市 16%、受益者 34% 【高付加価値創出支援補助金】 事業内容 農事組合法人ひらど新鮮市場が導入する施設 (いちごの長期保存用冷凍庫及び倉庫) への補助を行った。 事業量 冷凍庫 1 基 (7.3 m ²) 及び倉庫 1 棟 15.8 m ² 事業費 2,740 千円 (補助対象事業費) 負担割合 県 : 50%、市 : 14%、受益者 : 36%	13,325
ながさき農山村活性化支援事業 (農林課) 【事項別明細書 202 頁】	津吉地域活性化協議会 (各種 15 団体の代表者など 23 名で構成) が実施する地域活性化活動に対する補助を行った。 事業内容 活性化計画の策定 (各種会議の開催等)、環境保全活動 (耕作放棄地の情報把握)、産業振興活動 (新規就農者の営農定着支援、先進地視察、加工新商品開発の準備など) 事業費 500 千円 (補助対象事業費) 負担割合 県 : 100%	500
輝くながさき園芸産地振興計画推進事業 (農林課) 【事項別明細書 202 頁】	ながさき西海農協松浦地区アスパラガス部会が導入する環境負担軽減対策資材 (UV カットフィルム) に対し、補助を行った。 事業内容 UV カットフィルム導入 A=139.0a (平戸市 : 5 戸 : 81.0a、松浦市 : 7 戸 : 58.0a) 事業費 全体事業費 1,937 千円 (平戸市 1,144 千円、松浦市 793 千円) 負担割合 県 : 33.3%、市 : 18.7% (補助残の 28%)、受益者 : 48%	858

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
2,186			1,095	この事業を行ったことで、当該箇所における農地の区画整理、農道・水路の改修、暗渠排水路等が整備され、102a の耕作放棄地を解消することができた。 また、解消後の農地においては、地域振興品目を中心に作付けを行い、園芸産地の拡大に向け推進がなされた。
15,990				この事業を行ったことで、認定農業者の労働力不足が一定解消し、農業環境の改善と規模拡大につながった。また、9 名の雇用創出ができた。 新規雇用失業者数 9 名
10,137			3,188	アスパラガスハウスへの導入補助を行ったことで、新規就農者 2 名の就農定着化促進と経済面での支援ができ、将来的な後継者育成と産地拡大につながった。 また、いちごの長期保存用冷凍庫及び倉庫への補助を行ったことで、いちご栽培農家の所得向上及び第 6 次産業化の振興が図られた。
500				この事業を行ったことで、多くの活性化団体の代表者が一同に会し、意見交換や活性化計画を策定する中で、環境保全活動 (耕作放棄地の情報把握)、産業振興活動 (新規就農者の営農定着支援、先進地視察、加工新商品開発の準備など) が推進され、津吉地域の活性化に寄与することができた。
645			213	アスパラガス産地である田平地区の生産農家が、施設内への害虫進入の防止や活動抑制に効果がある被覆資材 (紫外線カットフィルム) を導入したことによって、大幅に薬剤散布回数が減り、安全で安心な農産物の提供と、環境保全型農業の推進が図られた。また、防除労力の削減と所得向上につながった。

事業名	事業内容	事業費
農地・水・環境保全向上対策事業 (農林課) 【事項別明細書 202 頁】	本市と協定を締結した活動組織が、地域で共同して行う農地、水路等の日常の管理や農村環境の向上に資する活動を支援した。 事業主体 県北地域農地・水・環境保全向上対策協議会 事業費 交付金 4,786 千円、推進事業費 480 千円 交付団体 16 団体(平戸 9、生月 1、田平 6) 交付面積 田 397.44ha、畑 41.77ha、草地 21.77ha 計 460.98ha	5,266
有害鳥獣被害防止対策事業 (農林課) 【事業別明細書 202 項】	有害鳥獣(イノシシ等)による被害防止のため、有害鳥獣駆除員に対する捕獲報償金及び平戸・田平猟友会への駆除業務委託並びに捕獲罠の整備を行った。 捕獲報償金(4,086頭) 20,430千円 捕獲罠(箱罠133基) 8,037千円 駆除業務委託(平戸・田平猟友会) 6,000千円 その他 773千円	35,240
鳥獣被害防止総合対策事業 (農林課) 【事業別明細書 202 項】	有害鳥獣(イノシシ等)による農作物の被害防止のため、ワイヤーメッシュ柵及び電気柵の整備に対して補助を行った。 防護柵整備(ワイヤーメッシュ柵) 103,426千円 防護柵整備(電気柵) 9,766千円	113,192
新規就農者実践農場推進事業 (農林課) 【事項別明細書 202 頁】	県北各地域の優良農業者をインストラクターとして認定し、地域の振興品目であるいちご・アスパラガス・繁殖牛などによる農業経営を目指す新規就農希望者を対象に、1年目(前期)の実地研修と2年目(後期)の就農以降のフォローアップを実施する事業であり、平成23年度においては、2年目の研修者に対し補助を行った。 補助金 600千円(1人×50千円×12月) 研修作物 アスパラガス	600
豊かな農山村づくり事業 (農林課) 【事項別明細書 202 頁】	○担い手対策支援事業 農業大学校就学者5名への補助 600千円 ○高付加価値型農林業の振興対策事業 玉ねぎ乾燥施設建設(1棟)への補助 200千円 ○その他活性化に資する事業 露地園芸作物苗代補助(4部会) 1,101千円 活性化団体(1団体)への研修費補助 200千円	2,101

財源内訳				事業の成果												
国県支出金	地方債	その他	一般財源													
480			4,786	この事業を行ったことで、農業施設の管理や農用地・農道等の草刈、水路の土砂上げ活動等が円滑に実施され、農業施設の長寿命化や地域環境の保全向上が図られた。 また、地域住民が参加し活動することによって、さらなる集落環境の向上と住民間の交流が生まれ、農業の持続的な発展に寄与した。												
13,429			21,811	この事業を行ったことで、地元猟友会及び特区チームによる有害鳥獣(イノシシ等)の捕獲体制の強化が図られ、農作物の被害を抑えることができた。 ○捕獲頭数(イノシシ) (単位：頭) <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>捕獲頭数</td> <td>2,322</td> <td>4,799</td> <td>4,086</td> </tr> <tr> <td>前年度比</td> <td>94%</td> <td>207%</td> <td>85%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H21	H22	H23	捕獲頭数	2,322	4,799	4,086	前年度比	94%	207%	85%
年度	H21	H22	H23													
捕獲頭数	2,322	4,799	4,086													
前年度比	94%	207%	85%													
113,192				この事業を行ったことで、有害鳥獣(イノシシ等)の農地侵入を防止し、農作物の被害を抑えることができた。 ○防護柵整備状況 (単位：m) <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>WM柵</td> <td>10,559</td> <td>46,080</td> <td>148,880</td> </tr> <tr> <td>電気柵</td> <td>37,570</td> <td>19,140</td> <td>48,241</td> </tr> </tbody> </table> ※WM柵=ワイヤーメッシュ柵	年度	H21	H22	H23	WM柵	10,559	46,080	148,880	電気柵	37,570	19,140	48,241
年度	H21	H22	H23													
WM柵	10,559	46,080	148,880													
電気柵	37,570	19,140	48,241													
300			300	この事業を行ったことで、研修者は、インストラクターやJA生産組織より営農に対する基礎的な技術の習得をすることができ、意欲ある新規就農者の確保・育成に寄与することができた。												
			2,101	この事業を行ったことで、農業大学校の学生や団体等への研修費を補助することにより、農業に対する意欲の向上と担い手の確保が図られた。 また 玉ねぎ乾燥施設建設及び露地園芸作物苗代への補助を行ったことにより、農業者の負担軽減が図られ、同時に産地の規模拡大と地域農業の活性化につながった。												

事業名	事業内容	事業費
担い手コーディネーター設置事業 (農林課) 【事項別明細書 204 頁】	〈緊急雇用創出事業臨時特例基金事業〉 事業内容 平戸市担い手育成総合支援協議会が、担い手コーディネーターを雇用して、「担い手農家の巡回による農家の各種意向掘り起こし活動」、「多様な担い手育成のための意向調査」及び「有害鳥獣被害防止にかかる事業啓蒙、指導」を行った。 委託先 平戸市担い手育成総合支援協議会 事業量 担い手コーディネーター2名雇用 (延べ人数)	2,057
家畜導入事業 (農林課) 【事項別明細書 206 頁】	長崎県家畜導入事業を活用して、ながさき西海農協が実施する繁殖雌牛の貸付に対して1頭当たり138千円の補助を行った。 ひらどモー！モー！増頭支援事業補助金 県：92千円×50頭=4,600千円 市：46千円×40頭=1,840千円 合計 6,440千円	6,440
和牛オリンピック対策奨励事業 (農林課) 【事項別明細書 206 頁】	平成24年度に開催される第10回全国和牛能力共進会長崎県大会に向けた候補牛導入及び出品対策に対する補助を行った。 ・全国和牛能力共進会長崎県大会負担金 360千円 ・和牛オリンピック対策奨励事業補助金 4,000千円 350千円×16頭×1/2=2,800千円 400千円×6頭×1/2=1,200千円 ・長崎全共平戸市対策推進協議会運営補助金 200千円 400千円×1/2=200千円 ・事務経費 80千円	4,640
構造改善加速化支援事業 (農林課) 【事項別明細書 206 頁】	【地域活性化支援補助金】 事業内容 ながさき西海農協が建設したキャトルセンターに導入する設備・機械への補助を行った。 事業量 子牛運搬車1台、堆肥運搬車1台、ホイールローダ1台、飼料運搬車1台など 事業費 17,156千円(補助対象事業費) 負担割合 県：33.3%、市：10%、受益者：56.7%	6,501

財源内訳				事業の成果																
国県支出金	地方債	その他	一般財源																	
2,057				この事業を行ったことで、平戸市や平戸市担い手育成総合支援協議会との連絡及び調整が円滑になされ、認定農業者などへ幅広く活動支援をすることができた。併せて、緊急雇用により雇用の創出につながった。 新規雇用失業者数 2名																
4,600			1,840	ながさき西海農協を通じて優良繁殖雌牛の導入の支援を行ったことで、高齢化による飼養戸数及び飼養頭数の減少はあるものの中核畜産農家の規模拡大につながった。 (戸、頭) <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>飼養戸数</td> <td>560</td> <td>518</td> <td>489</td> </tr> <tr> <td>飼養頭数</td> <td>3,447</td> <td>3,280</td> <td>3,202</td> </tr> <tr> <td>1戸あたり</td> <td>6.1</td> <td>6.3</td> <td>6.5</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H21	H22	H23	飼養戸数	560	518	489	飼養頭数	3,447	3,280	3,202	1戸あたり	6.1	6.3	6.5
年度	H21	H22	H23																	
飼養戸数	560	518	489																	
飼養頭数	3,447	3,280	3,202																	
1戸あたり	6.1	6.3	6.5																	
			4,640	この事業を行ったことで、優良繁殖雌牛群の整備が図られ、平成24年度(第10回)全国和牛能力共進会長崎県大会に向けた出品対策の推進と和牛部会及び農協、関係機関一体となった産地力の向上につながった。																
5,718			783	この事業を行ったことで、キャトルセンターにおける施設の充実が図られ、作業効率及び衛生面の向上と利用する畜産農家の負担軽減につながった。																

事業名	事業内容	事業費
21世紀平戸牛産地強化対策事業 (農林課) 【事項別明細書 206頁】	肉用牛経営の規模拡大に意欲を持つ畜産農家に対して、国県補助事業の採択要件に合わない施設整備に対して補助を行った。 21世紀平戸牛産地強化対策事業補助金 別飼施設 1棟 28㎡ 500千円 増改築 3棟 149㎡ 604千円 堆肥舎 1棟 32㎡ 250千円	1,354
子牛共同育成施設整備事業 (農林課) 【事項別明細書 208頁】	【平成22年度繰越明許費】 〈地域活性化・きめ細かな交付金事業〉 事業内容 ながさき西海農協が建設したキャトルセンターに対し補助を行った。 事業量 子牛共同育成牛舎 2,606㎡、堆肥舎 395.2㎡、管理棟 48㎡、受入検査棟 105㎡など 事業費 142,173千円(補助対象事業費) 負担割合 国：49.38%、県：20%、市：20%(うち平戸市 45.63%)、受益者 10.62%	101,540
農村災害対策整備事業県工事負担金 (農林課) 【事項別明細書 208頁】	県が実施する老朽化した農業用ため池等の改修のための調査測量・設計及び計画書作成にかかる県工事負担金。 生月地区(ため池、土砂崩壊防止施設) 負担金 39,396千円×16%=6,303千円 負担割合 国：55%、県：29%、市：14%、受益者：2% 大島地区(ため池) 負担金 1,200千円×25%=300千円 負担割合 国：50%、県：25%、市：25%	6,603
農業農村整備事業 (農林課) 【事項別明細書 210頁】	農道整備事業 事業費 4,978千円 施工後、相当年数が経過し、老朽化により支障を来していた農道の補修を行うため、農業者団体が実施する路面舗装等の施設整備に対して補助を行った。 農道舗装 22路線、L=1,720m 平戸地区 2,700千円 14路線 生月地区 459千円 2路線 田平地区 722千円 3路線 大島地区 1,097千円 3路線 小規模かんがい恒久対策事業 事業費 5,013千円 農産物の生産向上と労働力軽減を図るため、農業者団体が実施する老朽化した農業用かんがい施設や未整備地域の施設整備に対して補助を行った。 水路 13箇所、ため池 4箇所、頭首工 1箇所 平戸地区 3,040千円 12箇所 生月地区 1,095千円 4箇所 田平地区 878千円 2箇所	9,991

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			1,354	この事業を行ったことで、低コストの牛舎・堆肥舎の整備による経営規模の拡大及び低コスト経営が図られた。 また、堆肥舎の整備により、家畜ふん尿の適正管理につながった。
98,643			2,897	この事業を行ったことで、農家の労力軽減が図られるとともに、市場における均一性のある子牛の生産が可能となり、子牛の販売価格の引き上げが期待できることから、今後の増頭対策につなげることができた。
	5,400	580	623	当該ため池は、堤体及び余水吐などの老朽化に伴い、漏水が発生するなど支障を来していたが、この事業を実施したことにより、将来的に堤体崩壊に伴う土砂及び水害の防止と農業用水の安定供給が期待できる。
			9,991	道路への落石や路面の損傷など、農道の維持管理に相当の経費と労力を要していたが、道路が整備されたことにより、農産物や機械搬入の省力化、荷傷み防止等、交通安全の確保が図られた。 近年、特にイノシシによる水路の被害が多く発生し、水路の管理に多大な影響が出ていたが、この制度を活用したことにより、施設が充実し、農産物の生産向上と労働力の軽減が図られた。

事業名	事業内容	事業費
地域ため池総合整備事業県工事負担金 (農林課) 【事項別明細書 210 頁】	県が実施する老朽化した農業用ため池の改修にかかる県工事負担金。 大島地区 (柳ノ元・白岩ため池) 事業費 40,113 千円 負担金 40,113 千円×9%≒3,610 千円 負担割合 国：60%、県：31%、市：8%、受益者：1%	3,610
【事項別明細書 212 頁】	【平成 22 年度繰越明許費】 大島地区 (柳ノ元・白岩ため池) 事業費 25,000 千円 負担金 25,000 千円×9%=2,250 千円 負担割合 国：60%、県：31%、市：8%、受益者：1%	2,250
豊かな海につながる平戸市民の森林づくり事業 (農林課) 【事項別明細書 218 頁】	海を見わたせる植樹会場において、森林と海とのつながりについて学習した後、市民ボランティアの手により、ヤブツバキの植樹及び間伐材を使った木工教室を行った。 名称：ながさき森林環境保全事業 (大島)・第 4 回平戸市育樹祭 植樹年月日：平成 23 年 10 月 29 日 (土) 植樹場所：大島村 (大島支所周辺、船越) 植栽木：ヤブツバキ (1,000 本) 参加人数：112 名	863
流域育成林整備事業 (農林課) 【事項別明細書 218 頁】	植栽から保育まで一貫した造林事業を集团的、計画的、組織的に実施し、森林の総合的整備を行った。 事業量 下刈 4.64ha (平戸地区 3.0ha、田平地区 1.64ha) 造林 0.2ha (平戸地区 0.2ha) 間伐・枝打 0.85ha (平戸地区 0.85ha) 事業費 1,376 千円	1,376
しいたけ新商品開発モデル事業 (農林課) 【事項別明細書 218 頁】	くふるさと雇用再生特別基金事業> 規格外の菌床しいたけを活用した新商品を開発するため、委託を行った。 ・受託団体 平戸市森林組合 ・新商品開発 乾燥しいたけ ・事業費 7,567 千円	7,567
自然災害防止事業 (農林課) 【事項別明細書 218 頁】	豪雨により、崩壊した民家裏林地 (3 箇所) について、県の補助事業を活用し、復旧工事を実施した。 京塚地区 (山中町) L=6.0m 崎方地区 (崎方町) L=4.0m 蟹田ノ辻地区 (中野大久保町) L=20.0m	2,772

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
	3,000	401	209	当該ため池は、堤体及び余水吐などの老朽化に伴い、漏水が発生するなど支障を来していたが、この事業を実施したことにより、堤体崩壊に伴う土砂及び水害の防止と農業用水の安定供給が可能となった。
	1,900	250	100	
857			6	4 回目を迎えた平戸市育樹祭を、初めて大島村で開催し、大島村はもとより市内各地から、次代を担う小・中学生や保護者など 112 名の参加があった。 その中で、森林と海とのつながりについて学習し、また木工教室及び植樹を通して、森林の持つ公益的機能などについて幅広く情報提供する中で、参加者の森林に対する認識が深まったと同時に環境保全にも寄与することができた。
876			500	この事業を行ったことで、植栽から保育事業までの一貫した造林事業の実施ができ、優良材の生産及び健全な森林の育成が図られた。 また、森林の持つ多面的機能の発揮を促進し、水源かん養機能やCO ₂ (二酸化炭素) 削減に寄与できた。
7,567				これまで商品価値が低かった規格外のしいたけについて、乾燥加工を施したことにより、付加価値が付き、商品価値が高まった。この乾燥しいたけは、平成 22 年度から商品化され、市内外において販売を行い、収益増につながった。 また、雇用の創出につなげることができた。 新規雇用失業者数 2 名
1,384		694	694	この事業を行ったことで、林地の現況復旧と再崩壊を防止し、市民生活の安全を確保することができた。

事業名	事業内容	事業費
森林病虫害対策事業 (農林課) 【事項別明細書 218 頁】 【事項別明細書 220 頁】	防風・防潮林等の公益的機能を有する松林を病虫害(松くい虫)から守るため、防除を実施した。 ・地上散布 7.82ha(平戸地区3.22ha、大島地区4.60ha) ・空中散布 82.0ha(大島82.0ha) ・伐倒駆除 180.0m ³ (平戸地区12.0m ³ 、生月地区66.0m ³ 、大島102.0m ³) ・樹幹注入 128本(平戸128本)	9,237
森林整備地域活動支援交付金事業 (農林課) 【事項別明細書 220 頁】	施業集約化に不可欠な作業路網の改良箇所の洗い出しのための点検及び崩壊箇所・崩壊の原因となっている箇所について、丈夫で簡易な作業路網へ転換を図る改良活動に対して支援を行った。 事業内容 作業路網の改良活動 1,100ha (平戸地区940ha、田平地区160ha) 事業主体 県林業公社、平戸市森林組合、北松森林組合	6,000
特用林産物活用施設整備事業 (農林課) 【事項別明細書 220 頁】	平戸市森林組合が整備する菌床しいたけのホダ木生産施設に対し、補助を行った。 事業量 ホダ木生産施設増設工事 A=1,133.58 m ² 事業費 328,587千円(補助対象事業費) 負担割合 県：50%(直接補助)、市：16%、受益者34%	52,573
森林整備加速化・林業再生事業 (農林課) 【事項別明細書 220 頁】	【平成22年度繰越明許費】 林業機械及び車両の搬入、間伐促進を目的に、県の補助事業を活用し、中核作業路の整備を図った。 路線名 中核作業道阿瀬見線 事業量 L=990.0m、W=3.0m 事業費 46,640千円	46,640
離島漁業再生支援交付金事業 (水産課) 【事項別明細書 222 頁】 【事項別明細書 224 頁】	漁業生産や販売の面で本土地区に比べ不利な条件が強いられる離島地区の中で、漁業組合員自ら策定した活動計画(集落協定)に基づき、沿岸漁業の振興に取り組む漁業集落に対して一定額の交付金を交付した。 対象地区 度島 46世帯 6,256千円 高島 4世帯 544千円 的山 28世帯 3,808千円 大根坂 21世帯 2,856千円 推進事務費 200千円	13,664

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
8,253			984	この事業を行ったことで、防風・防潮林等の公益的機能を有する松林を病虫害(松くい虫)から守ることができ、地域住民生活及び環境・景観保全を図ることができた。
4,625			1,375	この事業を行ったことで、森林整備が計画的に進み、公益的機能が発揮され、森林所有者の林業経営意欲の向上に寄与した。
	52,573			この事業を行ったことで、ホダ木にかかる生産コストの低減が可能となり、事業者の所得向上と経営の安定化及び林産物の振興と雇用の確保が図られる。
46,640				この事業を行ったことで、中核作業路が整備され、車両等の搬入が可能となり、間伐等の森林整備が図られ、森林所有者の林業経営意欲の向上に寄与した。
10,252			3,412	各漁業集落の地域特性を考慮した「漁場の生産力の向上に関する取り組み」並びに「集落の創意工夫を活かした新たな取り組み」を展開し、産卵場の整備、磯焼け対策、加工品の開発、直売所の整備運営を行った。

事業名	事業内容	事業費
漁村再生交付金事業 (水産課) 【事項別明細書 224 頁】	魚礁設置及び緑地整備 設置場所 魚礁：早福・生月地先 緑地：早福 ・総事業費 82,264 千円 うち年度内支出 53,986 千円 事業内容 早福地区漁村再生交付金魚礁設置工事 トラスリーフ TR-30 5 基 生月地区漁村再生交付金魚礁設置工事 ハニカム 10 基 FP 魚礁 3.25 型 38 個 早福地区緑地整備工事 東屋工事 土間芝生工事 ・事務費 325 千円	54,311
環境・生態系保全活動支援交付金事業 (水産課) 【事項別明細書 224 頁】	漁業者が取り組むモデル的な磯焼け対策に対して交付金を支給した。 度島地区 志々伎地区 計画づくり 400 千円 計画づくり 400 千円 計画モニタリング 500 千円 計画モニタリング 500 千円 保全活動 1,500 千円 保全活動 2,300 千円 合計 度島 2,400 千円 + 志々伎 3,200 千円 =5,600 千円 負担区分 国 (1/2) 県 (1/4) 市 (1/4) 市支出内訳 負担金 5,600 千円×1/4=1,400 千円 補助事務費 250 千円 単独事務費 1 千円	1,651
豊かな海づくり事業 (水産課) 【事項別明細書 224 頁】	市内の漁民、漁協及び団体が取り組む水産業振興策を支援するため、市単独の補助金を交付した。 ①真空包装機導入〔高付加価値型漁業の振興対策〕 473 千円 大島村漁業協同組合女性加工部 ②いけす仕切り網導入〔高付加価値型漁業の振興対策〕 160 千円 志々伎漁業協同組合 ③エビ・カキ祭り〔高付加価値型漁業の振興対策〕 243 千円 平戸市水産振興協議会 ④磯焼け対策〔資源管理型漁業推進事業〕 124 千円 中野漁業協同組合	1,000
密漁取締連携推進事業 (水産課) 【事項別明細書 224 頁】	密漁対策のため、平戸市管内の漁協で組織された北松海域漁場監視連絡協議会が実施する漁業者による密漁監視のための自警活動に対し、監視活動に使用する船舶の運航経費の一部を補助した。 総事業費 3,390 千円 密漁監視活動実績 226 回 県費 1,130 千円 (1/3；直接補助) 市費 565 千円 (1/6) 負担金 1,695 千円 (1/2；協議会自己負担金)	565

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
43,871	10,000		440	漁港から比較的近い海域に人工的に漁場を造成し、天然礁や既存の人工魚礁と併せて、回遊魚の滞留時間の延長を促すことで、漁獲の増大及び漁業経費の軽減に繋がった。 また、早福地区に緑地整備を行うことで、漁港環境の改善と地域住民の憩いの場ができた。
250			1,401	対象地区において漁業者・漁協をメンバーの中心とする活動組織を設立し、地先の磯焼け対策について協議しながら(計画づくり)、定期的なモニタリングと併せてウニ駆除やウニハードルの設置、母藻の設置など藻場の保全活動を計画的に実施した。
			1,000	①大島近海で採れた新鮮な魚を使い、付加価値を付け、商品の安定供給を図るため、真空包装機による保存を行うことで長期保存と計画的な生産が可能となり漁家経営の安定に繋げることができた。 ②安定的出荷体制維持のため、平成 15 年に数種類の活魚蓄養を目的に大型蓄養施設を設置した。今回その仕切り網を使用することで魚種毎の区分けができ、安定的且つ円滑に出荷することが出来るようになった。 ③冬のイベントとして定着している「エビ・カキ祭り」の宣伝をすることで、多くの客を集めることができ、平戸の旬の食材を積極的に PR することができた。 ④食害生物であるガンガゼ・小型巻貝を駆除することで環境保全と資源保護の意識付けができた。
			565	自警活動に取り組む平戸市内の全漁協により組織された漁場監視連絡協議会に対し、域内に発生する密漁の効率的な排除と密漁情報の共有システムを確立し、漁場監視体制の整備強化を図ることができた。

事業名	事業内容	事業費
農林漁業振興資金 利子補給事業 (水産課) 【事項別明細書 224 頁】	漁業者の資本装備の高度化を図り、漁業経営の近代化等に資するため、法令等に基づき漁業近代化資金等を融資した金融機関（漁協）に対し、利子補給金を交付した。 農林漁業振興資金利子補給（利子補給率 1.5%以内） 期首融資残高 165 件 527,853 千円 平成 23 年度新規貸付実行状況 8 件 35,000 千円 利子補給額 平戸市漁協 1,259 千円 中野漁協 101 千円 志々伎漁協 2,718 千円 九十九島漁協 40 千円 生月漁協 162 千円 大島村漁協 112 千円	4,392
新生水産県ながさき総合支援事業 (水産課) 【事項別明細書 224 頁】	浜の生産・流通・経営基盤整備対策 3t型活魚運搬車導入事業 事業実施主体：平戸市漁協 事業費 7,380 千円 県費 3,690 千円 市費 1,230 千円 自己資金 2,460 千円	4,920
水産業普及指導事業 (水産課) 【事項別明細書 224 頁】 【事項別明細書 226 頁】	①漁業・資源管理型漁業の推進 4,145千円 ・放流対象種 オニオコゼ、ヒラメ、クロアワビ、アカウニ ・放流箇所及び数量 志々伎地区 オニオコゼ (50mm) 10,000尾 <800千円> ヒラメ (120mm) 10,000尾 <1,365千円> 田平・津吉地区 クロアワビ (20mm) 15,000個 <1,260千円> 平戸・生月・獅子・中津良 アカウニ (10mm) 60,000個 <720千円> ②中間育成試験 551千円 ・中津良地区（海面中間育成） クロアワビ (15mm) 10,000個 <473千円> 餌（塩蔵ワカメ） <78千円> ③貝毒対策 140千円 ・ノロウィルス及び麻痺性貝毒モニタリング検査 <140千円> ④食中毒検査用検体 16千円 ヒラメ <16千円> ⑤船舶借上料 255千円 藻場調査・水産教室・現地打合せ 等 <255千円> ⑥その他事務費他 189千円	5,296
漁業担い手確保支援交付金事業 (水産課) 【事項別明細書 226 頁】	漁業担い手確保支援交付金 50,000 円×2 人×6 月（10 月～3 月） 対象者：生月 1 人 大島 1 人	600

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			4,392	借り手である漁業者の金利負担を軽減し、生産性の向上と所得の安定に寄与した。
3,690			1,230	活魚出荷体制の見直しが必要とされる中、活魚車を整備することにより搬送中のへい死を防ぐなど、活魚車の収容密度を抑え運搬方法を改善して輸送回数の節減を行った。また、鮮魚から活魚販売への一部転換により直売所の売上増を図ることができた。
			5,296	①減少傾向にある水産資源を維持安定（持続的利用）させるためには、種苗放流と同時に、“漁獲規制”を導入する資源管理型漁業が不可欠となる。資源管理型漁業への取り組みを推進するため、科学的根拠に基づく操業規制の導入及び県水産試験場等の推奨する最適放流手法の管内への波及を図った。 ②アワビ種苗の放流については魚価の低迷や沿岸域の磯焼けの深刻化により水揚げが減少していく中で、地元漁協でも十分な資金が確保できず放流数量を調整するなどして対応している現状である。市では地元の協力を得ながらアワビ放流種苗よりも安価な中間育成種苗の中間育成試験を実施し、高生残率を維持しながら放流通性サイズまで成長させ放流通期内に放流を実施することができた。 ③管内における養殖マガキについて、ノロウィルス及び麻痺性貝毒のモニタリング検査を実施したことで、風評被害及び食中毒の防止を図ることができた。 ④管内におけるヒラメ養殖について、寄生虫感染の有無についてモニタリング検査を実施し、風評被害対策を図った。
300			300	漁家子弟の後継者に、技術習得期間中の生活費の支援を行うことにより、後継者の確保に繋げることができた。

事業名	事業内容	事業費
漁港管理システム 化事業 (水産課) 【事項別明細書 228 頁】	<p><緊急雇用創出事業臨時特例基金事業> 既存資料の精度の向上及び毎年更新の省力化並びに利用者の利便性の向上を目的とし、漁港管理システム化事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁港背後集落調査及びシステム化 33 漁港 ・プレジャーボート泊地調査及びシステム化 25 漁港 	19,530
地域水産物供給 基盤整備事業 (水産課) 【事項別明細書 230 頁】	<p>季節風等による波浪により、漁船の係留や漁獲物の陸揚げ等に支障をきたしている状況にあるため、当事業の採択要件を満たしている3漁港において、防波堤の改良及び新設を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・獅子漁港 総事業費 88,652 千円 西防波堤(改良)L=15m うち年度内支出 37,000 千円 ・早福漁港 総事業費 28,471 千円 北防波堤(改良)L=3.5m ・釜田漁港 総事業費 57,498 千円 防波堤(B)L=31m ・事務費 3,109 千円 	126,078
【事項別明細書 232 頁】	<p>【平成22年度繰越明許費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・獅子漁港：西防波堤(改良)L=26.0m 54,401 千円 ・早福漁港：北防波堤(改良)L=14.5m 54,001 千円 ・釜田漁港：防波堤(B)L=10m 60,931 千円 ・事務費 169 千円 	169,502
強い水産業づくり 交付金事業 (水産課) 【事項別明細書 230 頁】	<p>荒天時の強風により係留時の漁船が支障をきたしている状況にあるため、防波堤上に防風フェンスの整備を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根獅子漁港 総事業費 35,950 千円 西防波堤(改良)L=117.4m うち年度内支出 9,950 千円 	9,951
水産物供給基盤機 能保全事業 (水産課) 【事項別明細書 230 頁】	<p>漁港施設の機能保全工事を行うための前提となる機能保全調査を実施するとともに、施設整備後、数十年が経過し老朽化が進んでいる施設について機能診断を行い対策工事を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化調査及び対策工事 総事業費 43,461 千円 うち年度内支出 19,493 千円 <p>老朽化調査：志々伎浦・根獅子・古田・獅子・下中野・船越・福良 対策工事：飯盛漁港(浮棧橋・飯盛山西防波堤・取付護岸)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務費 658 千円 	20,151
【事項別明細書 232 頁】	<p>【平成22年度繰越明許費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化調査：早福・堤・獅子 4,975 千円 	4,975

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
19,530				<p>漁港背後集落の調査を行いシステム化することで、毎年水産庁に報告している基礎データの信頼性が向上し、効率的に更新していくことが可能となった。また、プレジャーボートの許可事務をシステム化することにより、漁港ごとの許可状況が早く正確に把握できるなど、事務の効率化及び利用者の利便性の向上に繋がった。併せて、緊急雇用により雇用の創出につながった。</p> <p>新規雇用失業者数 9 名</p>
83,004	39,000	1,997	2,077	<p>当事業を活用して整備を行った結果、漁船の安全係留が可能になるとともに、漁獲物陸揚げ時の漁業者の安全が確保されるなど漁業就労環境の改善が図られた。また、港内水面の活用が可能になり、出荷調整用の蓄養筏が有効に利用できるなど、漁港機能が向上した。</p>
114,298	49,800	2,753	2,651	
6,716		161	3,074	<p>整備を行った結果、漁船が安心して係留できる環境が整えられるとともに、漁港用地内での作業時における漁業者の安全を確保することができた。</p>
12,406	2,500		5,245	<p>市営7漁港の機能保全調査を行い、年次計画にて施設の機能保全工事を行う準備ができた。また、老朽化している既存施設の保全工事を行った結果、将来生じる施設更新コストの削減を図ることができた。</p> <p>既存施設の長寿命化を行うことにより、将来生じる施設更新コストの削減を図るため、老朽化対策が必要な漁港について詳細な調査を行い、年次計画にて施設の延命措置を行う準備ができた。</p>
2,487			2,488	

事業名	事業内容	事業費
漁業集落環境整備事業 (水産課) 【事項別明細書 230 頁】	漁業集落の環境改善を目的として、早福漁港において漁業集落環境整備事業に取り組んでいる。平成23年度は、道路敷地として必要となる部分の物件調査及び建物補償を行った。 ・早福漁港 総事業費 50,100千円 うち年度内支出 16,190千円 物件調査 11件・建物補償 3棟 ・事務費 287千円	16,477
【事項別明細書 234 頁】	【平成22年度繰越明許費】 ・早福漁港 17,043千円 測量A=1.8ha・物件調査10件・土地鑑定評価2箇所 用地買収4筆・建物補償2棟	17,043
漁港施設機能強化事業 (水産課) 【事項別明細書 232 頁】	防波堤からの越波により、漁港施設及び漁船への被災を繰り返している状況にあるため、当事業を活用し防災対策工事を実施した。 ・下中野漁港 総事業費 29,400千円 うち年度内支出 13,922千円 測量A=2000㎡・基本及び実施設計1式・北防波堤(改良)堤体工1式 ・事務費 684千円	14,606
漁港施設整備事業 (水産課) 【事項別明細書 232 頁】	【平成 22 年度繰越明許費】 〈地域活性化・きめ細かな交付金事業〉 ・事業内容 御崎漁港(御崎浦)地区船揚場補修工事 2,141 千円 釜田漁港浮桟橋設置工事 10,692 千円 宝亀漁港浮桟橋設置工事 7,356 千円 主師漁港主師防波堤維持補修工事 168 千円 飯盛漁港崎瀬岸壁補修工事 1,407 千円 獅子漁港維持補修工事 483 千円 志々伎浦漁港浮桟橋(連絡橋)舗装補修工事 578 千円 猪渡谷漁港物揚場維持補修工事 248 千円 木ヶ津漁港防波堤標識灯取替工事 341 千円 獅子漁港関連道費用対効果算定業務委託 1,571 千円	24,985
漁港単独整備事業 (水産課) 【事項別明細書 232 頁】	【平成 22 年度繰越明許費】 市単独「地域活性化対策事業」による漁港施設補修工事等のインフラ整備費 16,157 千円 ・事業内容 高越漁港西防波堤侵食対策工事 3,307 千円 釜田漁港浮桟橋橋台工整備工事 3,401 千円 船越漁港防風施設整備工事 1,753 千円 宝亀漁港運動公園防球フェンス設置工事 2,048 千円 釜田漁港泊地浚渫工事 5,144 千円 生月漁港単独用地分筆測量業務委託 504 千円	16,157

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
10,523	5,600		354	地区内に防災、衛生、救急車両が進入できるよう、道路拡幅工事を行うための物件調査及び建物補償を行った。これにより、漁業活動を阻害している地区内の狭隘な道路の整備が可能となり、安心して漁業活動が行える環境を整えるとともに、劣悪な衛生環境の改善を図るための準備ができた。
10,997	5,700		346	
9,397	4,800	226	183	改良断面を決定するために必要な測量設計及び北防波堤の嵩上げを行うための、堤体部分のブロック製作を行った。これにより年次計画での防波堤の嵩上げに向けての準備が整った。
18,185			6,800	地元からの要望が強く整備の必要性も高かったが、国の事業採択要件に該当しないため見送られていた事業について、今回、市単独の地域活性化対策事業を活用し施設整備を行ったことで、これまでの懸案事項が解消され、漁業者が安心して就業できる環境が整った。
			16,157	市単独の「地域活性化対策事業」により施設整備を行ったことで、施設の機能が強化され、漁業者が安心して就業できる環境が整った。

事業名	事業内容	事業費
農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業 (水産課) 【事項別明細書232頁】 【事項別明細書234頁】	【平成22年度繰越明許費】 離島航路の発着場としての機能も持っている飯盛漁港において、老朽化し危険な状況にある既存施設に代わり、新たにフェリー待合所を建設した。 ・飯盛漁港 フェリー待合所 1棟 13,700千円	13,700
漁港整備事業県工事負担金 (水産課) 【事項別明細書232頁】	基幹的な漁港である県営漁港の施設を充実させるため、漁港整備計画に基づき県が実施している建設事業費の一部を負担した。 漁港整備事業県工事負担金 23,444千円 《水産生産基盤整備事業》 ・宮ノ浦漁港 ＜事業費 155,000千円＞ 市負担額 19,375千円 【うち年度内 事業費 122,604千円 市負担額 15,326千円】 護岸 147m・-3m蓄養岸壁 80m・道路(B)372m 浮桟橋(A)測量及び試験費1式・用地(B)10,855㎡ 《海岸保全事業(離島)》 ・度島漁港 ＜事業費 64,000千円＞ 市負担額 3,200千円 護岸(改良)89m・消波工61.8m 《強い水産業づくり交付金事業》 ・前津吉漁港 ＜事業費 79,000千円＞ 市負担額 9,875千円 【うち年度内 事業費 34,823千円 市負担額 4,353千円】 防風フェンス128m・標識灯1基・係船柱1基 《県単修築事業》 ・田助漁港 ＜事業費 2,458千円＞ 市負担額 565千円 用地舗装316㎡	23,444
	【平成22年度繰越明許費】 漁港整備事業県工事負担金 4,628千円 《海岸保全事業(離島)》 ・度島漁港 ＜事業費 61,503千円＞ 市負担額 3,075千円 護岸(改良)106m 《強い水産業づくり交付金事業》 ・度島漁港 ＜事業費 4,700千円＞ 市負担額 588千円 野積場(舗装工)393㎡ ・館浦漁港 ＜事業費 5,809千円＞ 市負担額 726千円 防舷材4基 ・生月漁港 ＜事業費 1,911千円＞ 市負担額 239千円 防舷材1基・係船柱3基	4,628

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
9,248	4,200		252	フェリー待合所を新築した事により、安全上の問題が解消され、生活航路として日々利用している島民が、安心して待合所を利用できる環境が整えられた。また、島外からの訪問客に安全で快適な環境を提供することができた。
	16,900	1,011	5,533	漁港整備を行ったことにより、漁船の安全性が確保されるなど漁港の機能が向上した。また、交付金事業を活用し施設整備を実施したことにより、漁業者の就労環境が改善された。
	2,900	76	1,652	